

地域に支えられ、地域を支える

～地域包括ケアシステムの社会資源として～

ふるさとの会・支援付き住宅推進会議 共催シンポジウム

基調講演 「支援付きすまい再考」

高橋 紘士

一般財団法人高齢者住宅財団 理事長／
支援付き住宅推進会議 共同代表



【パネルディスカッション】

「たまゆらの悲劇を繰り返さない

～共生社会の実現に向けて～」

(コーディネーター)

栗田 主一 氏

東京都健康長寿医療センター自立促進と
介護予防研究チーム研究部長

(パネリスト)

園田 真理子 氏

明治大学理工学部 教授

堀江 裕 氏

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部長

滝脇 憲

ふるさとの会 常務理事

【高橋紘士 プロフィール】

(一財)高齢者住宅財団理事長。特殊法人社会
保障研究所、法政大、立教大教授などを経て
現職。東京都社会福祉審議会委員長などを
兼務。また、(一社)全国ホームホスピス協
会理事、(一社)高齢者住宅推進機構理事な
ど兼任。編著として「地域包括ケアシステム」
「地域連携論」(いずれもオーム社)、「地域包
括ケアシステム」(分担執筆、慶應大学出版
会)など。

〈主催〉 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〈共催〉 支援付き住宅推進会議

日時：2016年11月3日 (文化の日)

13:30～17:00 (開場13:00)

場所：すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)・ホール

定員：200名(要申込) 参加費(資料代):1,000円 ※終了後に懇親会を予定

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人

自立支援センターふるさとの会 事務局

東京都台東区千束4-39-6-4F

TEL:03-3876-8150

FAX:03-3876-7950

E-mail:info@hurusatonokai.jp



ふるさとの会

【開催趣旨】「たまゆら火災」を契機に「支援付き住宅推進会議」が発足し、8年目のシンポジウムを迎えます。今年は、支援付き住宅推進会議の共同代表である高橋紘士が、これまでの取り組みの中間総括として「支援付きすまい再考」をテーマに基調講演を行います。

ふるさとの会は、住まいと生活に困っている方々への支援から活動を開始し、応急援護の限界から、地域生活への移行支援を始め、居場所づくり、そして宿泊所・自立援助ホームによる居住・生活支援へと展開してきました。その時々ニーズに応じながらも、一貫して、生きづらさを抱えた人たちが、地域のなかで安心して暮らし続けるための、実践と仕組みづくりを続けてきました。

今般、厚労省では高齢者や障害者、子どもなどの暮らしを地域で、シームレスに支えられる環境の整備を進めることを目的に、地域共生社会実現本部を設置しました。「高齢者に限らない地域包括ケア」が始まろうとしています。生活困窮者支援からスタートした私たちの取り組みを、地域包括ケアシステムの社会資源として位置づけ、認知症になっても、家族やお金がなくても、地域で孤立せず、最期まで暮らせるコミュニティーの実現を目指し、大いに討議したいと思います。皆様ふるってご参加ください！

11.3 ふるさとの会シンポジウム申込書

【会場案内図】 すみだ生涯学習センター

東京都墨田区東向島2-38-7

東武曳舟駅

改札口を（改札は一カ所のみ）右折、線路沿いに（北千住方面）すすみ、突き当たりガード下をくぐり左折（徒歩5分程）。

京成曳舟駅

青砥方面改札を出て明治通りを進み、東向島広小路のバス停先を左折（徒歩5分程）。

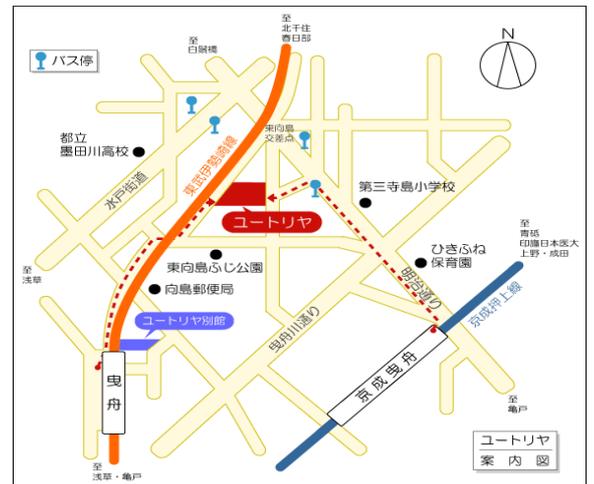
＜お問い合わせ＆お申込先＞

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会事務局

TEL：03-3876-8150 FAX：03-3876-7950 E-mail info@hurusatonokai.jp

※参加ご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申込下さい。なお、メールからもお申し込みいただけます。

※お申込受付の際、受信確認のFAXもしくはメールを返信いたします。3日以内（土日・祝を除く）に返信がない場合は、ご連絡ください。



フリガナ	
ご氏名	
所属団体	
部署名	
役職	
ご連絡先	TEL
	FAX
メールアドレス	(メールマガジンの配信) 希望する ・ 希望しない